



Toyo Bunko World Map Exhibition: Blaeu's Maps as Seen in Vermeer's Works



2015年4月22日~8月9日

東洋文庫ミュージアム

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21 TEL: 03-3942-0280
 入館料 ◆900円(一般)・800円(シニア)・700円(大学生)・600円(中・高校生)・290円(小学生)
 アクセス ◆駒込駅 (JR山手線南口、東京メトロ南北線2番出口) 徒歩8分、
 千石駅 (都営地下鉄三田線A4番出口) 徒歩7分
 開館時間 ◆10:00~19:00 ※入館は閉館の30分前まで
 休館日 ◆毎週火曜日(ただし火曜日が祝日の場合は次の平日)
 主催: 東洋文庫
 協力: 東京藝術大学、東京大学 情報理工学系研究科 川原研究室、AgIC、ATR Creative、
 HUMIconサルティング、木案舎、久保田チェンパロ工房
 後援: オランダ王国大使館、駐日英国大使館、日蘭協会、日英協会

ブラウの「大地図帳」全9巻 日本初公開!

17世紀、オランダは黄金期を迎えます。その繁栄を支えたのが東インド会社です。日本を含むアジア諸国との交易を通じて巨万の富を獲得しました。成熟する市民社会の知的関心に応え、同社公認の地図作家・発行人ブラウは『大地図帳』を完成させます。世界の地理情報の集大成ですが、地図の一枚一枚が豊かな色彩と豪華な装飾に満ちており、同時代の芸術家にも影響を与えました。フェルメールもその一人です。日本初の全巻公開となります。お見逃しなく!



①

②

◆記念講演会

- ◎6月14日 幸福輝(国立西洋美術館研究員)
『17世紀オランダ美術における“アジア”』
- ◎6月21日 タイモン・スクリーチ(ロンドン大学SOAS教授)
『東洋文庫蔵ジョン・セーリス航海日記からみる江戸初期イギリス商館の活動』
- ◎6月28日 小林頼子(目白大学教授、『フェルメール論』著者)
『フェルメールはなぜ地図を描いたのか：17世紀オランダの「世界」像をさぐる』、コメンテーター：本野英一(早稲田大学教授、ティモシー・ブルック『フェルメールの帽子』訳者)
※要事前申込。最新情報はホームページもしくはお電話にてご確認ください。

◆記念トークショー

- 6月6日(土) 関野吉晴(武蔵野美術大学教授・探検家)
『グレートジャーニー：地球を歩いて気づいたこと』
※要事前申込。最新情報はホームページもしくはお電話にてご確認ください。

◆東洋文庫アカデミア特別講座

- 牧野元紀(東洋文庫主幹研究員、本展企画担当)
『フェルメールも描いたブラウ大地図帳の世界』
※要事前申込。会期中毎日曜日(5/31、6/7、7/26除く)

◆ミュージアムコンサート～フェルメールの描く古楽器の調べ～

- ①5月16日(土)野々下由香里(東京藝術大学教授)・大塚直哉(同大准教授)②藝大生の実演(会期中複数回開催)。※①要事前申込、②不要

◆楽楽ワークショップ：理科と歴史のコラボレーション

- 『魔法のペンで光る地図をつくろう』、『古地図アプリを使いこなそう』 ※要事前申込。会期中複数回開催
イベントの日程、内容は変更になる場合があります。
料金等の詳細はホームページにてお知らせいたします。



③



④

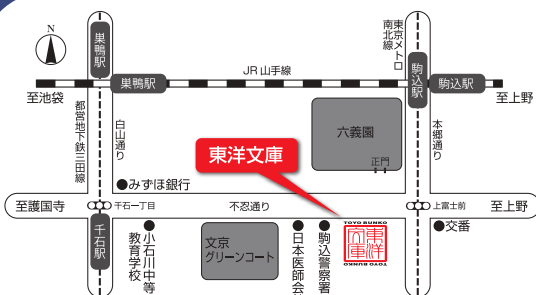
- ①フェルメール作品にも登場する世界地図の傑作
『大地図帳』ヨアン・ブラウ 1664年 アムステルダム刊
- ②オランダの繁栄とともに時代を築いた地図作家
『アジア図』ウィレム・ブラウ 1635年 アムステルダム刊
- ③北極が単独で描かれた最初の地図
『北極図』メルカトル 1619年 アムステルダム刊
- ④ブラウ地図の完成に貢献! 英国王ジェームズ1世派遣の対日使節航海記録
国指定重要文化財 『ジョン・セーリスの航海日記』1617年

特別公開 東洋文庫の名品



▲国宝『古文尚書』
7世紀前半(唐時代)書写

▶『四条夕涼図』
17世紀(江戸時代)



交通案内:
駒込駅 (JR山手線南口、東京メトロ南北線2番出口) 徒歩8分
千石駅 (都営地下鉄三田線A4番出口) 徒歩7分

東洋文庫

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-28-21
TEL: 03-3942-0280
<http://www.toyo-bunko.or.jp/museum/>

◆あわせてご利用ください

- *ミュージアムショップ
「マルコ・ポーロ」
(10:00 ~ 19:00)
- *レストラン
「オリент・カフェ」
(11:30 ~ 21:30)